

新規個別指導

患者名簿の送付 前日に変更

撤回求め 近畿厚生局へ要望

協会は20日、近畿厚生局長に対し歯科個別指導に関する要望書を提出した。これまで、歯科の新規個別指導における「患者名簿一覽表」は3週間前に郵送されていたが、今月から歯科医院へ「前日にファクスする」扱いに変更されたのを受けて、従来と対応するよう改善を求めた。

歯科の新規個別指導では、当日に持参するカルテの「患者名簿一覽表」は、9月までは「3週間前」に指導対象者の元へ郵送されていた。ところが、10月の新規個別指導から、実施通知は「3週間前」に送付しているものの、「患者名簿一覽表」は、歯科医院へ「前日にファクスする」取り扱いに変更された。新規個別指導に選定された歯科医師からは、「前日にファクスされたのでは診療に差し支える」と困惑した声が協会に多く寄せられている。

指導・監査は、9月まで大阪社会保険事務局が担当していた。しかし、同月末で社会保険庁が解体し、今日1日から近畿厚生局指導監査課に移管している。

元来指導とは、行政手

協会 敬
大阪府 歯科 保険 医 協
市 浪速区 幸町1-2-33
電話 (06) 6568-7731 (代
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円 月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

「前日にファクスする根拠は何か」との協会の申し入れに対して、近畿厚生局指導監査課は「共同指導に準じる」として根拠となる通知を示さなかった。指導大綱や共同指導の実施通知には、何ら患者名簿一覽表の送付

近畿厚生局 前日FAXの根拠示せず

「前日にファクスする根拠は何か」との協会の申し入れに対して、近畿厚生局指導監査課は「共同指導に準じる」として根拠となる通知を示さなかった。指導大綱や共同指導の実施通知には、何ら患者名簿一覽表の送付

時期についての記載は一切ない。協会は弁護士との歯科医療問題懇談会を再開するなどして、行政手続法にもとづく懇切・丁寧な指導内容への改善を求めるほか、大阪府や厚生局にも要請していく。

歯科医療改善や後期高齢で

協会署名に6氏(竹本・柳本・長安)が賛同

'08衆院選

争点

政策部

紹介議員と
なった。長
安豊議員
(民主)は
「後期高齢
者」と「自
主共済」に、竹本直一議
員(自)が「保険でよい歯
科医療を求める署名」、
柳本卓治議員(自民)・
辻元清美議員(社民)が
「自主共済の保険業法か
らの適用除外を求める署
名」の紹介議員をそれぞれ
引き受けた(表1)。

議員への働きかけ

この間、協会は「保険でよい歯科医療を求める署名」「後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める署名」「自主共済の保険業法からの適用除外を求める署名」の紹介議員をそれぞれ引き受けた(表1)。再三の要請にもかかわらず紹介議員(衆院)に応じなかったのは(表2)の通りだ。北側一雄議員(公明)は、面会さえ拒否し続けている。マスコミでは、二大政党制に導く「自民か民主か」というキャンペーンが引かれ、世論調査など

(表1) 07年~08年署名受け取り議員一覧(衆院:敬称略)

氏名	政党	保険でよい歯科医療を求める署名	後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める署名	自主共済の保険業法からの適用除外を求める署名
竹本 直一	自民・衆	○	×	×
柳本 卓治	自民・衆	×	×	○
長安 豊	民主・衆	×	○	○
石井 郁子	共産・衆	○	○	○
吉井 英勝	共産・衆	○	○	○
辻元 清美	社民・衆	×	×	○

(表2) 署名に賛同しなかった議員(衆院:敬称略)

自民		公明		民主	
井脇 ノブ子	中山 太郎	池坊 保子	田端 正広	平野 博文	藤村 修
大塚 高司	中山 泰秀	佐藤 茂樹	福島 豊		
岡下 信子	西野 あきら	谷口 隆義	北側 一雄(面会拒否)		
川条 志嘉	原田 憲治				
北川 知克	松浪 健二郎				
谷畑 孝	松浪 健太				
中馬 弘毅	柳本 卓治				
とかしき なおみ	矢野 隆司				

でも麻生・小沢両氏を比較するものとなってきている。しかし協会署名への賛同状況を見ると「自民対民主」という対決の構図はそれほど明確ではない。協会の「後期高齢者医療制度の廃止を求める署名」に衆院で紹介議員となったのは、3人の民主党議員のうち1人だけだ。

「反構造改革」勢力を昨年夏の参議院選挙は「構造改革」に対する国民の怒りが、反「構造改革」勢力が過半数を超えていることが前提である。この選挙は、衆院で反「構造改革」勢力が過半数を超えていることが最低条件だ。(つづく)

10月度生涯研

豊富なデータ駆使し

有用な接着システム解説



歯根破折、根管接着などについて解説する林氏(左)と熱心に話を聞く参加者=5日、M&Dホール

協会の歯科臨床・学術学会部は5日、10月度生涯研「歯根破折症例に学ぶ破折防止の戦略」接着システム構築から非侵襲性覆髄まで」をM&Dホールで開き、歯科医師ら104人が参加した。講師は、大阪大学大学院歯学部附属病院保存科外来医長の林美加子氏が務めた。

①の歯根破折の話題では、海外と日本の歯科事情の違いから始まり、実験結果をふまえた歯牙破折の予防要素の解説および破折歯の接着再建再植法の手技と予後の症例報告があった。特に、垂直歯根破折歯に対する外科的および保存的アプローチの適応症と、臨床有用性について解説された。

各種相談室

専門家がおこたえします

法律相談
【日 時】11月10日(月)午後2時~4時
【相談者】河村武信 弁護士

税務相談
【日 時】11月19日(水)午後2時~5時
【相談者】林 明 税理士

雇用相談
【日 時】11月20日(木)午後2時~4時
【相談者】桂好志郎 社労士

相談料は無料、会場は保険医会館1Fです。事前予約制で、1週間前に締め切ります。

歯界

近年、地球温暖化などの影響のなか、猛暑や局地的豪雨、ハリケーンや大地震など自然災害の発生が続き、まるで地球が混乱しているかのようだ。

4年前の23日午後5時、新潟県中越地方を震源としてM6.8の地震が発生した。発生地域・人口集中度などの影響もあり、阪神・淡路大震災と比較すると死者の被害は少なかつたものの、積雪地帯での地震対策や倒壊した住宅への行政からの経済支援など、さまざまな問題を残した。

自然界だけでなく経済界も混乱している。先月15日、米証券業界第4位のリーマンブラザーズが破綻し、実体経済にも大きな余波を及ぼしつつある。日本の金融機関が巨額を出資し、博打経済へとさらに踏み込むようだが、同じ轍を踏むのではないかと懸念されている。

中越地震の際、義援金を集めると称して詐欺メールを送る悪質犯罪が横行した。混乱した状況のときこそ、何が真実かを冷静に見極める目が必要である。